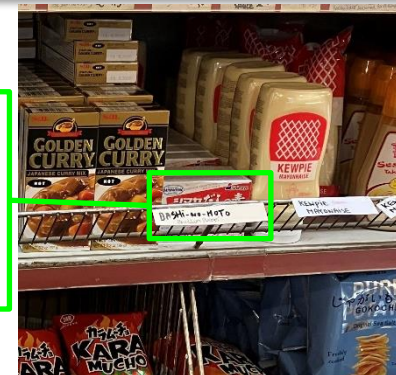


＜事業者の概要＞

1. 所在地：山口県周南市都町1-57
2. 代表者：代表取締役社長 原田 道太
3. 主な品目：だしの素、だしパック、めん類調味料、レトルト雑炊 など。
4. 主な輸出先国・地域：東南アジア、ヨーロッパ諸国、東アジア、北米、オセアニア、南米 など。
5. 事業概要：だしの素、だしパック、めん類調味料など、各種調味料の製造、販売。
主力商品であるだしの素は、日本で初めて製造販売した風味調味料。国内では、60年以上の販売実績があり、海外へは約30年以上の輸出実績。



★小売用商品
(ヨーロッパ専用)



【輸出の取組内容】

- 2014年 FSSC22000認証を取得、海外向け輸出体制を整備。
- 2023年 EU HACCP認証を取得し、ヨーロッパへの輸出体制を強化。
- 海外専用パッケージ商品を開発し、10ヶ国20アイテム以上を販売中。

【取組経緯】

- 国内市場規模の縮小から、海外への販路開拓を検討。
- 1996年、社内に貿易部署を設置し、各国・地域毎のニーズを把握しながら、間接・直接輸出を開始。
- 国ごとに販売計画を立て、販路を開拓。

【課題と対応方法】

- 浸透しない商品の認知度
→ 現地のバイヤーと協議を重ね、現地スーパーなどで地元料理への活用方法、和食料理のプロモーションや展示会出展を行い、商品の認知度向上を図る。
- 日本の基準と異なる輸入規制
→ 現地バイヤーと話し合い、輸入可能商品の案内、または商品開発により対応。
- 各国の購買層に合わない販売価格
→ 流通コスト、生産コストを抑えることや商品開発などで対応。

【今後の事業展開】

- ✓ 国内の輸出商社、各国の輸入商社、販売店、および飲食店と連携し、だしの素、めん類調味料等の新たな活用方法などを提案し普及につなげる。
- ✓ 「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことを契機に、和食に欠かせないだしの素、めん類調味料等をPRし、新たな販路の開拓を目指す。

【実績】

輸出額 (万円)		輸出国・地域割合 (%) 2023年	
2021年	37,400	アセアン	42 %
2022年	38,100	ヨーロッパ諸国	23 %
2023年	41,500	アジア	12 %
		その他	23 %